

# どんびま

2008年8月4日発行  
発行者 椛の湖農業小学校

## ヒロシマの夏 2

梅雨の晴れ間が続いていて、そのまま夏になってしまった。7月は記録的な猛暑が続いた。毎日の農作業は汗だくで、疲れもだんだんたまってきた。それでも8月の声を聞くと吹く風がほんの少し爽やかさを増した気がするのには私だけだろうか。

そして又、ヒロシマの日が来る。

私たちの子ども時代は6日か9日は必ず「登校日」であった。皆で黙祷し、先生は戦争の話・平和と憲法の話をした。

今では平和教育のための登校日はないのだという。子どもたちに戦争の非道や、悲惨さは伝えられているのだろうか。

唯一の被爆国である日本は、核兵器の廃絶運動にもっと果たしていく役割があるように思える。それが出来ないのは、被害者である以前に加害者だったことと、その責任を自身で総括・反省が出来ていない二重のうしろめたさからではないのか。

かの戦争のことをうやむやにしていまいそうな歴史教科書のこと、不戦を誓った憲法を国際貢献の美名に隠して変えてしまおうとする勢力のことなど、思えば思うほど今年もヒロシマの日は暑く、重いだらう。

夕立らしい雨も無く、暑い夏の陽射しを受けて畑は乾き、カボチャの蔓は枯れたようになってカボチャがむき出しになってしまい、カラスに狙われはしないかと鈴村農場長が心配していた。我が家のカボチャやスイカも同様だが、よく見ると枯れてしまっているのではなく、その先には緑の蔓がいっぱい伸びて、いくつもの実が生り付いている。

灌水をしない畑では、野菜たちは乾いた土の中で一層深く根を伸ばして水分を求める。日照りが続いてもシャンとしている。灌水をしている畑の野菜は地面に近いところの上根で生きているから、水をやらないとしなびてしまう。これは教訓になる。

バケツ稲は穂が出ましたか？ 穂が出たら稲の花を観察してください。これからが仕上げです。夏休みのお出かけの際など特に気をつけて、立派に実らせてください。 (草)



ツククサ 夏の畑に蔓延る丈夫な雑草。茎は地を這ってまがり、他の植物を覆い尽くす程になる。でも澄んだ青色の花は実に美しく暫し見とれてしまう。花弁は一見2枚のように見えるが、実は6枚。他の4枚は小さくて目立たない。

## ～とくちゃんの農小レポート～

# 「今年も案山子作りがんばるよ」

梅雨とは名ばかりで毎日暑い日が続いています。そんなカンカン日照りの中で7月の授業が始まりました。今月は下呂市の竹原から「農地・水・環境保全会」の皆さんが見学に来られました。

- 1 午前の授業。畑の仕事は草取りです。水分の少ない中でも雑草は逞しく伸びています。収穫は大根、人参、じゃがいも、サニーレタスでした。夏大根はちょっと見栄えが悪いが、厚めの皮を剥けば中は真っ白で柔らかくて美味しいです。
- 2 かぶと虫運動会。農小で配った幼虫を育てて持参し、竿の上で運動会を行いました。優勝中野雄次郎、準優勝加藤ふらの、三位井堂亮、四位河野光里、以上が上位入賞者でした。次回に表彰が行われますので楽しみに！
- 3 昼食。カレーライス、ポテトサラダ、天ぷら、つけもの  
カレーの野菜はすべて農小で採れたものばかりです。たくさんお代わり出来ましたか？特にジャガイモの味は格別でした！
- 4 キャンプの相談。昼食後には来月行われるキャンプについて、出し物等をグループごとに集まって相談しました。どんな出し物が出てくるか楽しみにしています。今年もおばけ～屋敷はでるのかな？  
保護者達は、キャンプの時の「遊び」と「夜店」翌日の「物づくり」についての話し合いを行いました。物づくりは参加を事前に予約して下さい。
- 5 午後の授業。案山子作り。今年も各家族ごとに作品作りに励みました。去年は椀の湖の名物的話題を提供しましたが、今年も昨年以上の力作が期待できそうで、今からとても楽しみにしております。
- 6 持ち帰り。じゃがいも、大根、にんじん、サニーレタスでした。

## ～とくちゃんのちょっと一言～

♪山田の中の本足の案山子、天気の良いのに蓑笠つけて、朝から晩までただ立ち通し、歩けないのか山田の案山子♪ 明治四十四年の小学唱歌で作者不詳とされていますが、我々の世代は殆んどが学校で覚えました。今では学校で習うことは無いでしょうが、案山子を見るとつい口ずさんで居るのは、稲と案山子の相性がなんとも微笑ましく思えるのだろうか？

昔懐かしい唱歌に親しむのは如何でしょう！故郷を田舎に持たない世代が増えていますが、♪ふるさと♪何となく懐かしい響きが有りませんか？

## 8月授業日(椈の湖キャンプ)のご案内

日程①8月23日(土)

- (9:00までに) ☆案山子が未完成の家族は完成させてください。  
8:30～9:00 受付 ☆時間に間に合うように、早めにお出かけください。  
9:00～9:15 始めの会  
9:15～11:00 授業 農作業(白菜の種まき かぼちゃ・トウモロコシの収穫 ほか)  
昼食準備、トマトジュース作り ハム作り 夕食下ごしらえなど  
案山子コンクール(出来栄審査)投票  
11:00～11:30 川上川へ移動(川遊び希望の家族)  
11:30～14:30 昼食(おにぎり弁当)  
(自由参加)川遊び 鱒つかみ  
14:30～15:00 椈の湖キャンプ場へ移動  
15:00～16:30 キャンプ場チェックイン 宿泊準備 テント設営  
16:30～ 夜店(夕食)準備(椈の湖オートキャンプ場広場)  
17:00～ 夜店開店  
19:00～ カブトムシ運動会表彰式 影絵劇 とくちゃんコンサート  
19:30～21:30 キャンプファイヤー グループ出し物(クイズ 肝だめしなど)  
21:30～22:00 風呂(有料 大人400円 小人200円)

日程②8月24日(日)

- 6:00 起床  
6:30～7:00 朝食準備 朝食  
7:00～8:00 夜店・食事の後片付け  
8:00～11:00 農小に移動(ウッディハウスは荷物を搬出し、チェックアウトすること)  
(自由参加)もの作り  
染め物  
木工…自由課題  
布草履(ぬのぞうり)  
竹細工  
11:00～11:30 後かたづけ  
11:30～11:50 昼食(流しそうめん)  
11:50～12:00 終わりの会

★もの作りの終わってない方は作業を続行していただいてもかまいませんが、後かたづけはキチンとお願いします。

★キャンプサイトのチェックアウトは13:00(時間厳守)でお願いします。

☆「川遊び」は自由参加です。

それぞれの親さんの責任でもって参加してください。

☆「もの作り」も自由参加です。

もちろん、何もしないでボーっとしているのもO.K.

☆9月の稲刈り時に「案山子コンクール(長持ち審査)」をします。

## 【持ち物と注意事項】

### 《もの作り》

- ・ 染物希望の方（先着 50 名）  
    エプロン ゴム手袋 はさみ ハンガー  
    染めたい物（綿の T シャツ、ハンカチなど ★一度洗って糊を落としてくること）
- ・ 木工・竹細工希望の方  
    大工道具 ナイフなど
- ・ 布草履希望の方  
    布（4cm×2mを20本くらい 色物・柄物だと出来上がりがカラフルで綺麗）

☆材料準備のため、もの作りの希望コースは必ずご記入ください。

ただし、希望が集中した場合は変更していただくことがありますので、ご了承ください。  
各自の材料の準備、道具、持ち物を忘れないで下さい。

### 《キャンプ》

- ・ 食器（バーベキュー用皿・コップ・スプーン・箸・水筒など）
- ・ 寝具（シュラフ・タオルケットなど）\*貸し毛布あり（200円）要予約
- ・ イス・テーブルセットがあると快適・便利
- ・ 懐中電灯・ペンライト（肝試しはペンライトでないと入場できません）
- ・ その他キャンプに必要なもの

## 【その他】

- ・ 夜店はグループごとに担当してもらいます。全員が交代でご協力ください。
  - 1 グループ……フライドポテト・から揚げ
  - 2 グループ……フランクフルト・イカ焼き
  - 3 グループ……焼きソバ
  - 4 グループ……フルーツポンチ・冷奴・サラダ鱈
  - 5 グループ……塩焼き・焼きおにぎり・焼き鳥
- スタッフ……豚丸焼き

参加費 大人・生徒 3000円 幼児 1500円

（1日のみ参加の場合も同料金）

キャンプサイト料金（定員5名） 5025円

別途 貸テント料金 3500円～ \*要予約

電源使用料 1000円

ウッディハウス使用料（1家族） 10000円

☆ウッディハウスは、申し込み多数の場合、1棟に2～4家族一緒に泊まっています。ただのことになります。そのつもりでお願いします。

貸しテント、貸し毛布の申し込みなどあったら、はがきに書いてください

◎ お問い合わせは TEL 0573-75-4417（山内）まで

◎ 返信締め切り 8月11日 厳守

～あぼ兄の百姓ばなし～

## 「全国唐辛子ジャンボリー」

今年4月、あぼ兄の待ちに待った「下野いきいき会館」がオープンした。この施設は、県営中山間地域農村活性化総合整備事業で建設されたものだ。

振り返ってみると、あぼ兄たちの地域は馬の背のような地形で、慢性的な水不足の地区だった。約30haの圃場は小さく、水路のU字溝は傾き、畦畔からは水が漏れるなどでせっかく立ち上げた農作業請負グループFAS（福岡アグリスタッフ）も農作業に苦勞していた。

これまでも、力を合わせて地域を守ってきた同志でさえ、春作業が始まると水争いになった。日照りの夏には、非科学的とは思いながらも、雨乞いの神社に詣でたこともあった。米余りで転作しようにも、湿田は畑作には向かない。

また、ある農家は水田地帯のど真ん中に10mにも伸びる花木を植えた。各戸バラバラの営農計画は景観を損ねるだけでなく、水田は荒れ、耕作不能地化は目に見えていた。

この地域を何とかしたい。将来に向け、もう一度基盤整備をして、共同化を図りたい。農業の担い手づくりと、都市との交流事業などで活性化ができないだろうかと考えた。

前年度の朝日農業賞を受けていた福井県大野市で、我等の地域とよく似たところを視察し、その翌日から思いを膨らませて、関係者に声をかけ始めたのが平成7年だった。

米余りの時代になぜ田に金をかけるのか、FASをもうけさせるだけなどの声を聞き、果ては税金の無駄使いとまで言われながらも、平成9年には80戸の農家で「むらづくり委員会」を設立し、紆余曲折はあったが、平成14年に採択され着工にこぎつけた。

基盤整備で圃場は大きくなり、パイプライン給水と自動弁で漏水が無くなり、節水もできて水源池の桜の湖の水位と景観を守ることにもなった。農道、排水路も新しくなり、農村公園も作られた。そして最後に活性化施設「下野いきいき会館」が完成したのだ。

総面積530㎡で、大ホール・研修室・調理実習室などを備えている。

これは去年まで農小の冬季課外授業として小林さんが担当してきたしめ縄づくり・凧づくりなどをしてきた老朽化した施設の代替でもあるから、今年度からはここを使って開催する。この活性化計画には農小の活動も組み込まれているから、農小もこの施設をおおいに活用してほしいと望まれている。

4月のオープン記念イベントは下野庚申堂（日本三大庚申の一つ）の春祭りに合わせて催され賑わった。毎年、春祭りの日に合わせて総会を開催している「好辛倶楽部」はあぼ兄が会長を務めるトウガラシの愛好家の会だ。今年は10周年記念大会となった。

9月13日には、その好辛倶楽部が下野いきいき会館を会場に、全国のトウガラシで町おこしをしている市町村、トウガラシを使った商品開発をしている企業・団体、トウガラシの研究者、トウガラシ愛好家等に呼びかけて、情報を交換し交流を深め合う「全国唐辛子ジャンボリー」を開催する。「ジャンボリー」の名付け親は倶楽部の事務局であった故加藤弘之君だ。彼のためにもこの企画をなんとか成功させたいと強く願っている。

農小の皆さんにもぜひ来ていただきたい。「ジャンボリー」はおまつりでもあるので遊びながら、トウガラシのように赤くなっているあぼ兄を応援してほしい。